

# 指定管理者の評価に係る会議の概要

施設名	箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター）
指定管理者名	一般財団法人箕面市医療保健センター
開催日	令和7年（2025年）11月11日（火）
開催場所	箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター） 3階大会議室
会議の出席者	箕面市立病院 医務局小児科主任部長 長谷川 泰浩 氏  公益財団法人阪神北広域救急医療財団 事務局長 徳井 秀朗 氏  施設利用者 大谷 八重子 氏

【概要】別添のとおり

内容	<p>令和7年11月11日（火）に箕面市立医療保健センター分室（豊能広域こども急病センター）大会議室にて、指定管理者に係る合議を実施いたしました。その中で下記のようなご意見を合議メンバーからいただき、指定管理者から説明がありました。</p> <p><u>1. 合議メンバーからの意見と意見に対する説明</u></p> <p>■受診者数の推移について</p> <p>（質問）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類似施設においても受診者数が少子化傾向以上に減っている気がしているがどうか。</li> </ul> <p>（説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を経て、受診行動が変容し、発症してすぐに豊能広域こども急病センターなどの夜間休日の救急医療機関に行くのではなく、いったん様子を見たり、受診前にまずは電話相談をしたりすることが増えたのではないか。また、昔に比べて、平日に子どもが病気になった場合に、家族が仕事を休みやすく、かかりつけ医の営業時間に診療に行けるようになったのではないか、と考えている。</li> </ul> <p>（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに、昔より子どもの病気を理由に仕事を休みやすくなつたと感じる。</li> <li>・受診行動の変容以外にも、休日に営業する開業医も出てきたこと、オンライン診療や救急往診サービスといった新たなビジネスモデルが生まれたことなどにより、受診者にとって選択肢が増えたことも要因として考えられるのではないか。</li> </ul> <p>（説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者数は、感染症の流行に応じて変動も大きいため、ここ数年の減少傾向を元に診療体制を大幅に変えることは容易でないが、引き続き受診者数の推移の動向を注視して運営を行っていく。</li> </ul> <p>■利用者アンケートについて</p> <p>（質問）</p> <p>利用者アンケートの回答率が99.7%と非常に高いが、回収にあたってはどう取り組んでいるか。</p> <p>（説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付のときにアンケート用紙を渡して、会計時に声かけをして回収をする形で、回収率の向上に取り組んでいる。</li> </ul> <p>■施設について</p> <p>（意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートにおいて、病院独特の臭いがするなど、の意見があるが、具体的にはどういった対応をしているか。</li> </ul>
----	--

(説明)

- ・指定管理者としては、高圧洗浄を行うなどの対応をしている。また、施設本体を維持管理する市においても、施設の維持管理を行う事業者と根本的な原因の調査を進めている。引き続き、快適な環境づくりに務めていく。

## 2. 総評

令和6年度の実質的な収支は赤字となっているが、令和5年度にひきづき患者数に応じて医師の出務体制を見直すなど、可能な範囲で支出抑制にも努めていること、また、利用者アンケートにおいてもほとんどの回答者から「まあまあ良い」以上の評価をいただいており、利用者からの意見を反映する取り組みも行っているということで、指定管理者として円滑な運営を行っていることを、市として評価いたします。